

令和元年度 第3回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 令和元年7月16日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 8名
- 4 傍聴者 なし
- 5 配布資料 (1) 令和元年度 小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料1
(2) 令和元年度 小平市公民館まつり開催報告・・・資料2
(3) 令和元年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料3
(4) 令和元年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料4
(5) 令和元年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料5
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 令和元年度 小平市公民館定期講座実施状況について
(3) 令和元年度 公民館まつり(5月開催)について
(4) 令和元年度 東京都公民館連絡協議会について
(5) 提言について
(6) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 6月市議会定例会における一般質問について

- ・「中央公民館及び健康福祉事務センター等の更新には仲町テラスの経験を生かすべき」
(水口かずえ議員)

中央公民館・健康福祉事務センター等の更新における市民や現場職員の意見の反映について、市の認識等を問う。

(答弁) なかまちテラス建設の際には仲町公民館・図書館建て替えにかかる方針の素案へのパブリックコメントを実施したほか、基本設計についての説明会を開き、

様々な意見・要望をもらい、検討結果の報告会を開催し、おおむね理解をしていただいたと受け止めている。今後も施設の更新にあたっては、必要な市民参加の手続きとわかりやすい説明を心がけて行く。

- ・「市内の見守りカメラの設置状況について」（比留間洋一議員）

公民館ごとに設置されている見守りカメラの台数を問う。

（答弁）中央公民館 1 台、小川西町公民館を含む西部市民センターに 2 台、仲町公民館を含む仲町テラスに 11 台。

- (2) 小川西町公民館の空調機設置 7月8日に全ての部屋への設置完了。

設置にあたって、音が出る作業については、公民館利用の妨げにならないよう主に休館日である月曜日に実施した。

- (3) 公共施設マネジメントについて

市では今年2月に小平第十一小学校について劣化診断の結果を考慮して、目標耐用年数を迎えつつあるので、更新を行うこととした。地域の核となる小学校の建て替えとなるので、今後、公共施設マネジメントの中で、老朽化が進む花小金井北公民館を始めとした近隣施設との複合化、あるいは機能移転の可能性を検討していく。

2 令和元年度小平市公民館定期講座実施状況について

資料1参照。

（質疑応答）

会 長 花小金井北公民館のシニア講座「スマホ（アンドロイド）を楽しみましょう！」 応募 50 人に対し定員 16 人。抽選から外れた方への対応はどうか。

事 務 局 受講生が同じ条件で講座を受けるために、講師の方がスマホを受講生分用意し、ネットの環境も整備した。その関係で定員を増やすことはできなかった。事業企画委員会に今回の講座の状況を説明し、来年度の講座で企画するか検討する。

会 長 中央公民館パソコン講座の応募が多い。「初歩のアンドロイドスマホ・タブレット」「初心者のためのタブレット（iPad）使い方講座」「初歩のスクラッチプログラム」「パワーポイントでフォトムービーを作ろう」と4つ企画されているが、応募者が多いからか。

事 務 局 タイムリーであること、またスマートフォンやタブレットの使い方講座への要望が多いので企画した。また、パソコン講座の「初歩のスクラッチプログラム」は子ども向

けのプログラミング講座であり、学校でプログラミングの授業が始まるので、それに向けて初歩のプログラミングを体験することを目的とした。

委員 津田公民館の子育て支援講座「昔遊びで多世代交流」では、多世代交流はうまくできたのか。

事務局 「昔遊びで多世代交流」講座は小平第四小学校の昔遊びのボランティアを増やすことが目的のひとつだった。講座の最終回に小平第四小学校のコーディネーターからボランティア募集を行った。

3 公民館まつり開催報告について 資料2参照。

(質疑応答)

委員 なかまちテラスは特徴的な建物なので、外の通路に受付があって、みんな頭をぶつけていたので、使い方に注意が必要だと思う。
また、まつりスタッフが分かるような工夫があるといい。スタッフが急に話しかけてきたので驚いた。

委員 なかまちテラスまつり音楽会「世界一の口笛とピアノデュオ」について、世界で活躍されている方を講師に招き、努力していると感じた。

委員 花小金井南公民館まつりで、食べ物が最後に値下げされていることがフードロスの観点からも良いと感じた。

委員 上宿公民館まつりについて、舞台発表で休憩時間が多かった。また、利用者懇談会のサークルしか参加できないので、再考してもいいのではないか。

事務局 花小金井南公民館まつりの音楽会「グリーンロードで奏でる、新緑のギターメロディー」では、プロのギタリストの演奏会を行った。立ち見が出るほど盛況だった。

4 東京都公民館連絡協議会について 資料3については後日説明することとし、委員より資料4について説明した。

5 提言について 事務局より平成28・29年度の提言についての進捗状況について説明した。

各委員より、提言について提案した。

- 委員 前回の提言で、未対応のものについて、検討したい。
公民館事業企画委員会について、公民館事業企画実行委員会の構想があったが、現在まで今未設置なので、どのようにするか検討したい。
事業企画委員のなり手がいない件について、検討したい。
事業企画委員会で企画された講座の成果と評価、課題などを検討したい。
サークル員の高齢化に伴い、公民館に来る人のアクセス(交通手段)をどうするか検討したい。
高齢者対策について、例示を示すと、スカイプの利用、地元FMラジオ局の開設、ホームページ作成支援、サークル運営のサポートなど検討したい。
若者や現役世代、定年退職早々の世代を公民館に呼び込むためのPRをどうするか検討したい。
- 委員 小平市公民館創立70周年の節目に、民主主義・自由主義・国際協調・環境保全など世界が抱える課題や、児童虐待防止・引きこもり対策等の身近な課題への、公民館主催の自主講座を継続して実施してはどうか。「公民館」の意義を再認識してもらい、70周年の節目に公民館の意義を、改めて見直してもらう好機ではないかと思う。
高齢者以外の方への積極的な働きかけとして、「シルバー大学」のほかに「市民大学」を開設したらどうか。
行政各部署が協働して、「オール小平」として取り組んでほしい。
- 委員 社会教育活動の拠点であり、地域住民の交流の場、学習の場として、公民館は社会情勢を重視し、住民の様々なニーズを踏まえながら、住民に求められ、必要とされることが求められていると思う。
公民館における今日的な課題について、情報交換し共有する。
地域づくりにつながる公民館事業の実践や団体との関係づくりなど、公民館を学ぶ機会を充実させる。
事業企画委員会の報告及び検証について、検討したい。
講座受講後の継続的な学習活動に向けて、サークル化に結び付く事業が必要であると思う。
- 委員 人気がある講座のデータを事業企画委員会にフィードバックできないか。どんなカテゴリーの講座が人気があるか、ハードルが低く公民館に来館しやすい講座にはどんなものがあるのか、データがあると事業企画委員会の話し合いが活発になるのではないかな。

私立の幼稚園や小学校に通っていると、公民館の情報を得ることが難しい。
公民館の親子向けの講座には応募が多く、なかなか参加できない。参加できないときはユーチューブで同じような内容のものを見る等、代わりになるものがある。若い世代は、公民館でなくても情報や経験が得られる。学び方が若い世代は今までとは違う方法になっている。
サークル活動や公民館まつりへの参加には条件があるため、気軽に参加ができないことが難点だと思う。

- 委員 講座のマニュアル化が必要だと思う。
良い講座でも応募が少ないこともあり、広報活動に工夫が必要だと思う。
人気の高い講座は事業企画委員会を通さずとも企画した方が良いのではないかな。
- 委員 各委員から出された意見で、同じような意見がある。たくさんの案の中から柱となる案を選び、小平市の公民館のあり方について議論して提言にまとめたらどうか。
- 委員 環境整備、自習室の開放、夜間講座の実施、役員の負担軽減、会議の簡略化、公民館へのアクセスについて検討したい。
また、講座から必ずサークル化することを目標にしなくても良いのではないかな。
- 委員 これからの地域社会の有りようを考えると、社会教育行政として公民館の果していく役割は非常に大きい。趣味や継続的な学習活動を通して、地域社会に活力をもたらす「場」であることが期待されている。
花小金井北公民館の早急な改善を望む。
社会教育の理念や理想について、積極的に発信する必要がある。
コミュニティバスの路線を一部延長し、公共施設循環バスを運行することは、高齢ドライバーの事故対策や渋滞・防災対策としても有効ではないかな。
掲示板の積極的な活用をすべきではないかな。
- 委員 防災講座、やさしい日本語講座、子供向けの工作、あそび道具作り、料理の講座、パソコン講座の提案と、シルバー大学受講生の活躍の場として、もっとコミュニティ活性化のために本格的に活用すべきと考える。
- 委員 事業企画委員会について、検討したい。
くつろぎスペースの設置として、飲食、おしゃべりできるフリースペースが各館にあると良い。
子育て世代の講座の参加率向上のために、土曜日、夜間も保育付き講座を検討する。

また、防犯の面でも公民館でも子どもを見守るように気をつけて行くと良いと思う。

会 長 いろいろな意見が出されたが、学識経験者としてはどうか。

委 員 委員皆さんの幅広い目線は大変勉強になった。公民館に必要なものが何かを洗い出したことは良かった。全てが課題だと思うが、短期的な課題、長期的な課題、どれから手を付けていったら良いか、また、いくつかの課題に絞って検討するか、やり方はいろいろ考えられる。大事だと思うことは、公民館は地域の学びの拠点なので、外部とのつながりが大切だと思う。

会 長 皆さんからのご意見を全て検討することは難しいので、今後、内容が重なっている人ごとにグループに分けて、グループごとにまとめて行く予定でいる。

6 その他

(1) 公共施設マネジメント課からの報告

中央公民館の更新と小川西町公民館を含む小川駅西口地区再開発の進捗状況について説明した。

(質疑応答)

委 員 小川デザインカフェに参加した。行政の方の意欲を感じた。市民の参加がもっとあると良い。

委 員 市内の他の公民館も含めた全体の大きなコンセプトはあるか。

事 務 局 行財政再構築プランの中で、地域のコミュニティ施設の在り方について同時進行で構築中である。それが公民館につながってくると思うが、具体的にはまだ決まっていない。

委 員 場当たりの作り方ではなく公民館全体を考えて、無駄がないように考えて欲しい。

事 務 局 公民館だけではなく公共施設全体を対象とした計画である、小平市公共施設マネジメント推進計画の中で、小学校を拠点とした複合化を掲げている。小学校を核として地域学習やコミュニティ機能を小学校と複合化して、地域の拠点とするように考えている。小学校の老朽化に伴い建て替えを行うときは、近くの公民館や図書館と複合化できないかを考える。元となる計画があるので、それに照らし合わせて計画していく。

(2) 公民館運営審議会委員の定数の変更について

事務局より審議会委員の定数を変更する予定があることを説明した。

次回提案し、その後審議することとした。

次回は、9月17日(火)午後2時～中央公民館会議室にて開催する。